

前回の審議会をふまえた事業者との調整事項（58 街区）

（前回：第 43 回横浜市都市美対策審議会景観審査部会 平成 30 年 5 月 7 日）

【指摘事項 1】

高層棟ファサードの分節化について検討すること。

前回審議会では、それまでの協議結果から抽出した 4 案を提示しました。ご意見を踏まえ、無理な操作とならない範囲で、かつ単調にならないファサードデザインについて引き続き協議を進めた結果、A 案が周辺と調和した計画であると考えます。詳細については、今後進捗に応じてモックアップ等で確認しながら協議していきます。

【指摘事項 2】

キング軸の位置付け、コモンスペースの考え方について検討すること。

キング軸全体としては、歩行者動線機能とにぎわい創出の機能が求められています。またそれに加えて、特に 15m 幅の地区施設と位置付けられたみなとみらい大通りより海側については、都市軸としての象徴性と、通景の確保が求められています。

その点を踏まえ、事業者との協議の中で動線の再整理を行い、キング軸に人の流れを引き込み・導くように各コモンスペースの位置付けを明確化し、呼応するアクティビティフロアを強化した、地区の魅力創出に資する計画になっていると考えます。

【指摘事項 3】

低層棟及び高層棟低層部のファサードについて検討すること。

前回審議会では、低層棟の 1) スラブ厚等に起因する圧迫感の低減、2) 新高島駅側から見た閉塞感の解消と、高層棟低層部の 3) 横浜駅側からのキング軸との関係性の整理、4) 賑わいを演出するファサードへの改善、についてご意見を頂きました。

事業者の目指す街に開かれた空間とすることを踏まえ、地区のゲートとしてのシンボル性や暖か味のある素材感は保持しつつ、軽快なルーフや透明感のある開放的なファサードを取り入れ、コモンスペースが呼応し合いながら、建物内部にまで人を呼び込む連続したにぎわい空間が創出される計画になっていると考えます。

【指摘事項 4】

とちのき通り沿いのにぎわい創出について検討すること。

キング軸のにぎわいは重要視しつつも、とちのき通りについても裏とにならないようなにぎわい創出が必要であると考えます。

コアに併設されたサテライトワークスペースや、リフレッシュコーナーをとちのき通り側の各階に設け、1階のEVホールなども積極的に街に開くことにより、裏とにならないにぎわい空間が創出されているものと考えます。

【指摘事項 5】

地区施設とみなとみらい本町小学校との接続について検討すること。

前回審議会では、本計画地と隣接するみなとみらい本町小学校のレベル差についてご意見を頂きました。事業者、みなとみらい本町小学校と本市の三者で現況を確認し課題を把握した上で、双方にとってよりよい形となる盛り土による高低差解消の方針を確認しました。

詳細については、今後も進捗に応じて三者で協議を重ね、地区の魅力が創出される計画としていきます。